

○ レコードの内容及び留意事項(2-3)【勘定科目内訳明細書(③売掛金(未収入金)の内訳書)】(令和5年4月1日前終了事業年度分)

項番	項目名		入力文字基準		留意事項
1	フォーマット区分		半角	1文字	「3」を記録してください。
2	行区分		半角	1文字	○ 明細行(当該勘定科目内訳明細書の明細部分)の場合は「0」を、合計行(当該勘定科目内訳明細書の合計部分)の場合は「1」を記録してください。 ○ 帳票化した場合には以下の条件に従って改ページを行います。 ・ 合計行が存在する場合、合計行で改ページを行います。 ・ 合計行が存在しない場合、1ページ分の明細の最大数(26行)ごとに改ページを行います。
3	科目		全角	10文字以内	売掛金、未収入金の別を記録してください。
4	相手先	名称(氏名)	全角	30文字以内	記録方法1(枠外の箇条書を参照)により、記録すべき口数が100口を超えるため、記録方法2②(枠外の箇条書を参照)により記録する場合には、その支店又は事業所等の名称を記録してください。
5		所在地(住所)	全角	100文字以内	
6	期末現在高		半角	16文字以内	記録方法1(枠外の箇条書を参照)により、記録すべき口数が100口を超えるため、記録方法2②(枠外の箇条書を参照)により記録する場合には、その支店又は事業所等の期末現在高の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記録してください。
7	摘要		全角	50文字以内	未収入金については、その取引内容を記録してください。 なお、記録方法2②(枠外の箇条書を参照)により記録する場合には、記録しなくても差し支えありません。

○ 合計行の場合は、項番6及び項番7のみ記録してください。

○ 次の記録方法に従って、記録してください。

1 相手先別期末現在高が50万円以上のもの(50万円以上のものが5口未満のときは期末現在高の多額なものから5口程度)については各別に記録し、その他は一括して記録してください。

2 上記1により記録すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記録しても差し支えありません。

① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記録(この場合100口目には項番4に「その他の相手先」等と記録するとともに、項番6に50万円未満のものも含む残額全てを一括して記録)

② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記録(支店又は事業所等の名称を項番4に記録するとともに、項番6にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記録)

なお、記録口数が100口を超えるか否かは、売掛金と未収入金との合計口数で判断してください。

○ 文字列を改行する場合は、文字列全体を「”(ダブルクォーテーション)」で囲んでください。